平成27年度

環境保全レポート

（CES報告書）

Total Logistics Solutions

SENKOSHA

平成27年11月30日作成

株式会社　宣工社

目次

Ⅰ. 組織の概要 …… 2

Ⅱ. 経営理念と環境方針 …… 4

Ⅲ. 環境保全の対象範囲と対象期間 …… 4

Ⅳ. 環境保全組織 …… 5

Ⅴ. 環境保全の取組み項目と目標 …… 6

Ⅵ. 環境保全活動の実績 …… 7

Ⅶ. 環境保全活動の内容 …… 8

Ⅷ. 環境保全の取組み評価と次年度の取組み目標 …… 15

Ⅸ. 代表者による総合評価と今後の対策方針 …… 16

Ⅹ.CSR体質の自己評価チェック(ISO26000中核事項にもとづく) …… 17

Ⅰ．組織の概要

【名称】　株式会社　宣工社

【代表者】　代表取締役　長内　英俊

【設立年月日】　1970年12月1日（昭和45年）

【本社所在地】　〒359-0022　埼玉県所沢市本郷1118-6

【資本金】　15,000,000円

【事業内容】

1・ダイレクトメール発送代行
2・医薬品、医療機器、医薬部外品、化粧品の製造業、製造販売業及び販売業
3・一般貨物自動車運送事業、特定貨物自動車運送事業
4・貨物軽自動車運送事業
5・貨物利用運送事業
6・一般旅客自動車運送事業、特定旅客自動車運送事業
7・倉庫業
8・食品の製造および販売
9・労働者派遣事業
10・古物営業法に基づく古物商
11・一般及び産業廃棄物の収集、運搬、処理及びリサイクル
12・インターネットによる通信販売及び卸売り一般販売業
13・配送センターの管理、運営業務
14・梱包業
15・インターネットTVによるメディア関連事業
16・前各号に附帯する一切の業務

【敷地面積】

本社・工場
　2,007㎡（約608坪）　延床面積2,439㎡（約739坪）
ロジスティクスセンター
　1,650㎡（約500坪）　延床面積1,728㎡（約524坪）

【所属】

（社）日本メーリングサービス協会
公益社団法人　日本通信販売協会【JADMA】賛助会員

【従業員数】　180名（平成27年6月1日現在）

【ホームページ】　http://www.senkosha-co.co.jp/company/profile/index.html

【資格取得】

プライバシーマーク
ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）
品質マネジメントシステム（ISO9001）

プライバシーマーク　ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）　品質マネジメントシステム（ISO9001）

【認証】

経営革新支援機構　彩の国指定工場

2015年10月取得

【本社・ロジスティクスセンター・事業所の名称および所在地】

＜本社・工場＞
〒359-0022　埼玉県所沢市本郷1118-6
TEL:04-2951-6300　FAX:04-2951-6310

＜ロジスティクスセンター＞
〒359-0015　埼玉県所沢市日比田721-3
TEL:04-2951-6301　FAX:04-2937-7464

＜茨城事業所＞
〒300-0504　茨城県稲敷市江戸崎甲1220-7
TEL:029-834-5070

＜青山オフィス＞
〒107-0062　東京都港区南青山3-1-3 スプライン青山東急ビル6F 【ビジネスエアポート青山 内】

Ⅱ. 経営理念と環境方針

【経営理念】

・メーリング事業で培った経験と知識を活かし、経済性を追求し、企業としての存在価値を高め、社会に貢献します。

・新たな顧客ニーズにチャレンジをし、付加価値の高いサービスを提供する中で、お客様と共に成長することを使命とします。

・働きがいのある職場作りを目指し、従業員及び家族が幸せを実感できる活力ある企業風土を築きます。

【環境活動方針】

当社は、社会的責任の一環として地球環境保全活動に積極的に取り組み、地域社会と連携し、愛される企業として成長することを目指します。

平成27年6月1日　　制定
株式会社　宣工社
代表取締役　長内　英俊

Ⅲ. 環境保全の対象範囲と対象期間

【環境保全の対象】

1）事業所と所在地

本社・工場
〒359-0022　埼玉県所沢市本郷1118-6

2）組織　参加従業員（正規）

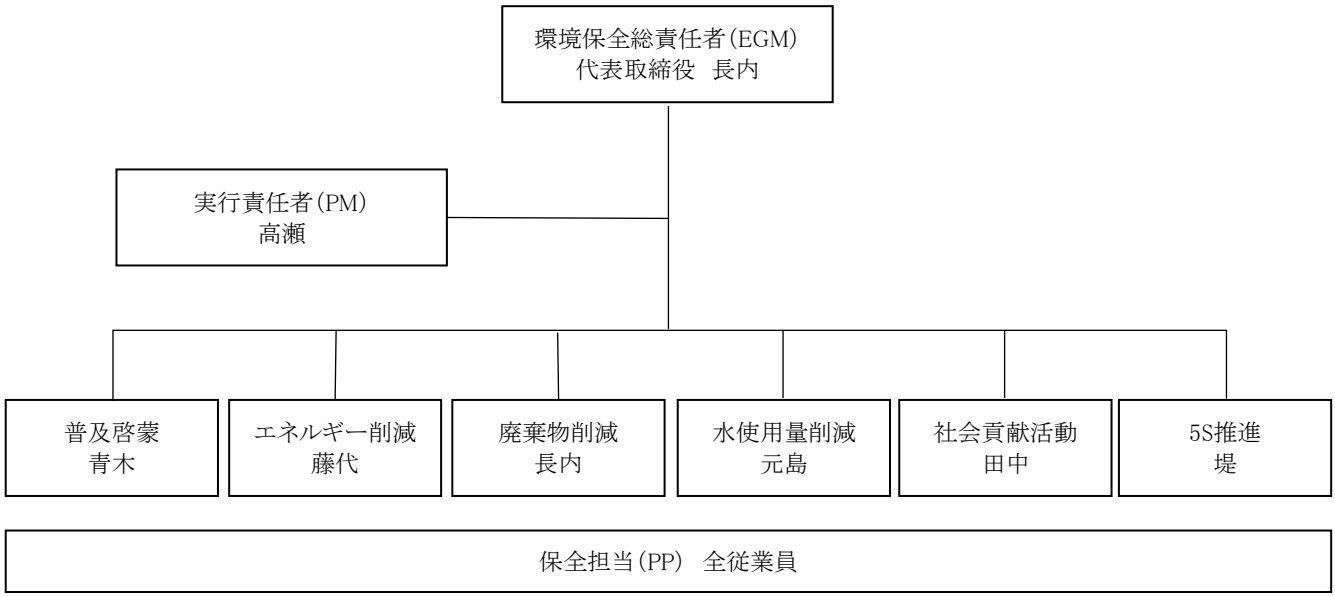
全組織・全従業員とする

【環境保全の対象期間】

平成27年6月1日～平成27年8月31日まで活動し、環境保全レポートを作成した。

Ⅳ. 環境保全組織

【コンパクトエコシステム組織図】



【環境保全活動推進体制と役割】

名称/委員会	対象者	役割	活動詳細
環境保全総責任者(EGM)/ 推進委員長	代表取締役 長内　英俊	・環境経営システムを構築し、全社会的環境保全推進の統括	・環境方針の周知徹底 ・環境保全活動全般の推進と統轄 ・全社目標の明確化 ・活動のマネジメントレビューの実施 ・社員教育の実施
実行責任者(PM)/ 推進委員	【実行責任者】 高瀬　康仁 【推進委員】 ・普及啓蒙 青木　貴根 ・エネルギー削減 藤代　邦重 ・廃棄物削減 長内　英俊 ・水使用量削減 元島　孝典 ・社会貢献活動 田中　真道 ・5S推進 堤　淳一	・環境経営システムの構築、計画、運用、評価、改善を推し進める。	・環境パフォーマンスのチェック、評価、改善 ＝四半期毎 ・環境保全対策会議の開催 ＝四半期毎 ・全従業員への報告 ・環境保全レポートの取りまとめ ・次期取組み計画作成
保全担当(PP)	全従業員	・工場及び事業所での環境保全活動の実施	・計画に基づく改善活動の実施

Ⅴ. 環境保全の取組み項目と目標

【環境保全の取組み項目】

1）エネルギー（電力・軽油・ガソリン）の削減

2）廃棄物排出量の削減、分別の徹底、再使用・利用率の向上、適正処理

3）水使用量の削減

4）社会貢献活動

5）5S推進

【取組み項目の期間中の目標】

※ 平成26年度の実績を基に目標を設定

1）エネルギー削減
電気・ガソリンの使用量・CO2排出量の把握と各前年比5%削減を目標とする。

2）廃棄物削減
ゴミ削減の徹底・一般廃棄物の重量と再資源化率の把握を行う。

3）水使用量削減
上下使用量の把握と昨年比2%削減を目標とする。

4）社会貢献活動
会社周辺の美化、清掃活動を月1回、全社員で取り組む。
ポリオワクチン支援の貢献を廃棄していたペットボトルキャップの回収によって実施。
毎年9月に開催している創業祭を継続し、地域住民との交流を育む。

5）5S推進
今期の運営方針「選択と集中」のもと、非効率業務・非生産的案件の撤退にもとづき、それらに関わっていた設備を5S活動により撤去を行う。

Ⅵ. 環境保全活動の実績（平成27年6月～平成27年8月）

【エネルギー使用量と二酸化炭素排出量削減への取組み】

	(A)前年実績値 H26.6月～H26.8月		(B)今年実績値 H27.6月～H27.8月		(B-A)増減量		前年比
	使用量	CO2排出量 (kg-CO2)	使用量	CO2排出量 (kg-CO2)	使用量	CO2排出量 (kg-CO2)	B/A 増減率(%)
電気使用量 (千kWh)	71.65	35538.40	67.19	33326.24	-4.46	-2212.16	93.78%
燃料使用量 軽油(トラック) (kL)	4.47	11.53	4.12	10.63	-0.35	-0.90	92.17%
燃料使用量 ガソリン(自動車) (kL)	0.75	1.74	0.67	1.55	-0.08	-0.19	89.33%
合計	76.87	35551.67	71.98	33338.42	-4.89	-2213.25	93.64%

【廃棄物削減への取組み】

単位:kg

廃棄物等種類		発生量 (イ)	再使用量 (ロ)	再資源化量 (ハ)	処分量 (イ-ロ-ハ＝二)	再資源化率 (ロ+ハ/イ×100%)
可燃ごみ	生ごみ	91.50	-	91.50	-	100.00%
	一般ごみ	17.75	-	-	17.75	0.00%
	木くず	3.00	-	-	3.00	0.00%
不燃ごみ	アルミ缶	8.63	-	8.63	-	100.00%
	スチール缶	51.06	-	51.06	-	100.00%
	ビン	27.76	-	27.76	-	100.00%
資源ごみ	段ボール	10760.00	-	10760.00	-	100.00%
	オフィス古紙	185.00	-	185.00	-	100.00%
	雑古紙	14666.00	-	14666.00	-	100.00%
	雑誌バラ	9461.00	-	9461.00	-	100.00%
	PEフィルム	336.00	-	336.00	-	100.00%
	プラパレット	670.00	-	670.00	-	100.00%
	プラスチック	560.00	-	560.00	-	100.00%
	ペットボトル	33.77	-	33.77	-	100.00%
有害ごみ	蛍光灯	1.84	-	-	1.84	0.00%
	乾電池	0.72	-	-	0.72	0.00%
金属ごみ	鉄屑	9590.00	-	9590.00		0.00%
合計		46464.03	-	46440.72	23.31	99.95%

【総排水量削減への取組み】

単位:㎥

	(A)前年実績値 H26.6月～H26.8月	(B)活動期間実績値 H27.6月～H27.8月	(A-B)増減量	前年比(%)
上下水使用量	130.00	120.00	-10.00	92.31%
工業用水				
合計	130.00	120.00	-10.00	92.31%

Ⅶ. 環境保全活動の内容

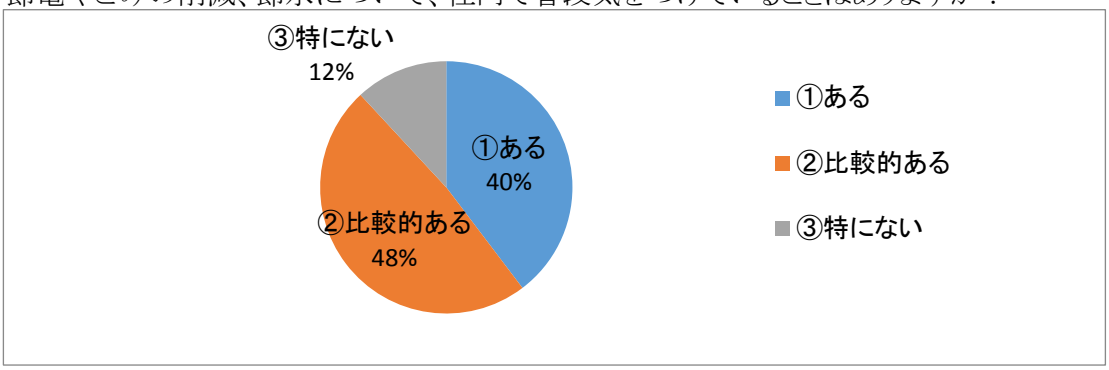
【取組み項目・内容・時期】

環境取組項目	取組内容	推進責任者	実施時期		
			平成27年6月	平成27年7月	平成27年8月
普及・啓蒙	アンケートの実施	総務課 庶務 担当 青木	○	－	－
	ワークショップ形式の環境保全取組み項目の抽出		○	－	－
	環境に関する自覚教育		○	－	－
エネルギー削減	待機電力の削減活動	営業部 営業課 係長 藤代	○	○	○
	エコドライブによる軽油・ガソリン使用量の削減		○	○	○
廃棄物削減	廃棄物の分別計量の実施	代表取締役 長内	○	○	○
	廃棄物の分別管理表の作成		○	－	－
	廃棄物分別実施と日常管理		○	○	○
水使用量削減	節水の啓蒙活動	営業部 営業課 担当 元島	○	○	○
社会貢献活動	会社周辺美化清掃活動	営業部 営業課 課長 田中	○	○	○
	ポリオワクチン支援 （ペットボトルキャップ回収）		○	○	○
	周辺隣家への騒音流出防止の徹底 （騒音計で定期測定）		○	○	○
法令順守	環境関連法令の抽出と取組み状況の把握	営業部 営業課 課長 田中	○	－	－
	順法評価登録表の作成		○	－	－
5S推進	非効率業務・非生産的案件に関わる不要設備の対策	本社製造 グループ 係長 堤	○	○	○

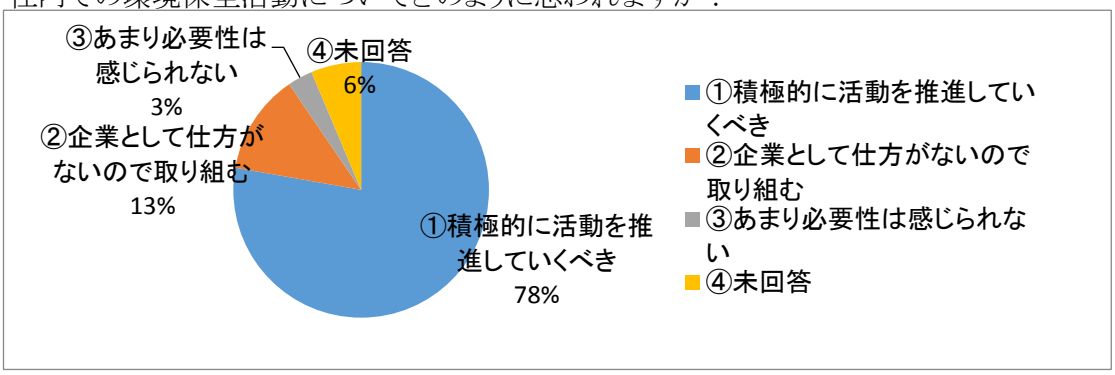
【環境保全に必要な教育の実施】

1）アンケートの実施
環境に関する全従業員の環境問題意識づけとして、アンケート調査を全従業員対象に行った。

（1）節電やごみの削減、節水について、社内で普段気をつけていることはありますか？



（2）社内での環境保全活動についてどのように思われますか？



2）ワークショップの実施
環境経営士がファシリテーターを務めワークショップ形式で具体的な取組み内容を従業員自ら考え提案した。

取組みテーマ	項目	取組み提案内容
エネルギー削減	照明	部分点灯の徹底
	エアコン	設定温度の決定
		他の設備（サーキュレータ・扇風機）との併用
		シーリングファンの設置
		運行管理者の設定
	PC	つけっぱなし防止
		退社時の電源OFFの徹底と確認
		節電コンセント導入
	ガソリン・軽油	アイドリングストップ
廃棄物削減	全体	分別の周知徹底
	紙	書類の電子化
		紙資料の共有化
	生ごみ・一般ごみ	弁当ごみの持ち帰り推進
水使用量削減	全体	蛇口漏れの改修
		節水の周知徹底
5S活動	全体	大清掃日の設定

3）自覚教育・要因教育の実施

全従業員を対象に環境保全をさらに進めるための教育を行った。

＜テーマ＞

（1）地球環境問題、特に大気汚染の歴史や現状の地球温暖化の原因について

（2）企業がなぜ環境問題に取り組まなくてはいけないのか

（3）3Rについて

〈勉強会の写真＞

4）廃棄物の削減のための教育

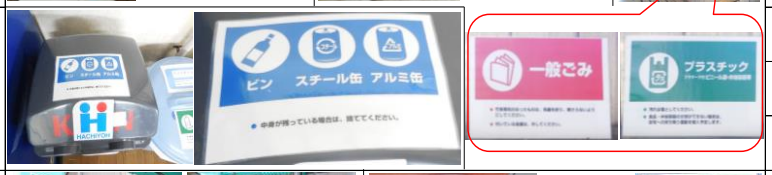
廃棄物管理票を作成し廃棄物等の名称・排出方法に関する留意点、保管場所、表示、管理部署を明確にし全員に周知させた。

廃棄物分別管理表

作成年月日:2015/6/24

承認	照査	作成

目的 ： 廃棄物排出量の削減・リサイクルの質の向上に取り組むことで、循環型社会の構築に貢献する。

廃棄物等の名称	管理	排出方法に関する留意点	保管場所	表示	管理部署
可燃ごみ	生ごみ	生ごみは「生ごみ処理機」で資源化する。 異物（プラスチック容器等）を混入させない。 水分は取り除く。	食堂外		
	一般ごみ	竹串等先のとがったものは、先端を折り、刺さらないようにしてから出す。 付いている金属は、できる限りはずす。	食堂外（階段下） →廃棄物倉庫		
不燃ごみ	ビン	中身が残っている場合は捨てる	食堂		
	スチール缶	中身が残っている場合は捨てる			
	アルミ缶	中身が残っている場合は捨てる			
資源ごみ	新聞・雑誌	紙以外の付着紙、 リサイクルに不向きな紙は混入させない。	1F倉庫		
	シュレッダー紙ごみ	OA紙や段ボールはそれぞれ分別する。			
	段ボール	段ボールの大きさを揃えて整理整頓する。			
	ペットボトル PET	中身が残っている場合は捨ててきれいに濯ぐ。 ラベルははがして資源プラスチックへ分別する。キャップはキャップ箱へいれる。	食堂・自販機横		
	プラスチック	汚れは落とす。 食品（弁当）関係容器の分別ができない場合は自宅への持ち帰り運動を導入	食堂外（階段下）		
産業廃棄物	蛍光灯	マニュフェストで適切に管理されているかを確認する。 スプレー缶・カートリッジボンベ等は、爆発の危険性があるため中身を使い切る。 残っている場合は「中身あり」と明記すること。	廃棄物倉庫横		
	木くず		廃棄物倉庫前の鉄カゴ		
	廃棄プラスチック スプレー缶		廃棄物倉庫		
	乾電池	充電式電池やボタン電池は取集しないので、販売店の回収ボックスへ入れる	廃棄物倉庫		
	クーラー 小型家電製品 OA機器等	家電リサイクル法対象品目は法律に基づいて適正な処理を行う。	廃棄物倉庫		
リサイクル	金属ゴミ	金属回収業者へ委託して、適正な処理を行う。	廃棄物倉庫		

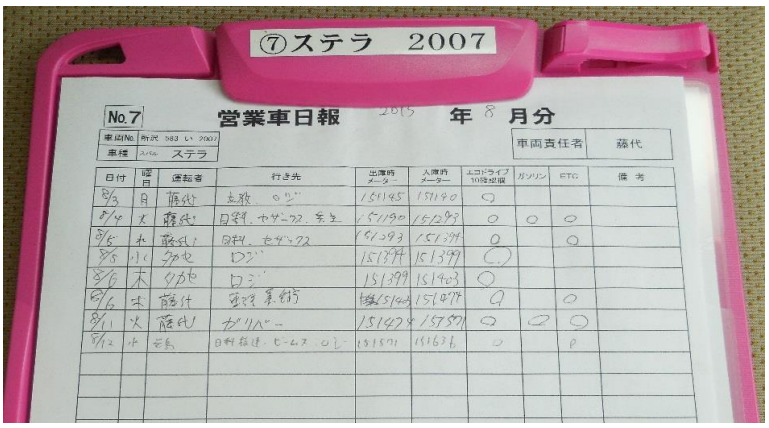
【「エコドライブ10」の取組み】

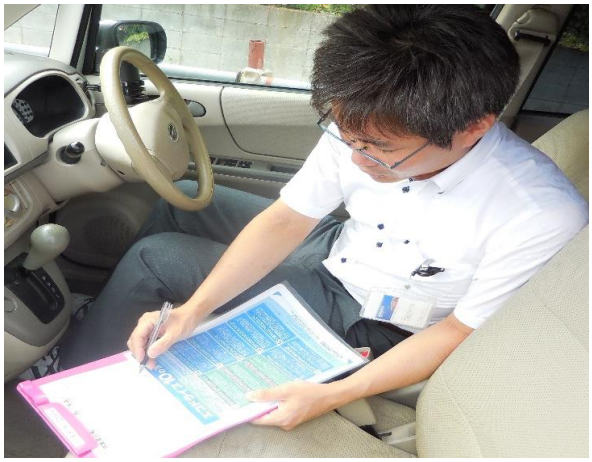
1）各車両への「エコドライブ10のすすめ」を積載することで意識を高めた。

「エコドライブ10のすすめ」

1・ ふんわりアクセル「eスタート」	6・ 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう
2・ 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転	7・ タイヤの空気圧から始める点検・整備
3・ 減速時は早めにアクセルを離そう	8・ 不要な荷物はおろそう
4・ エアコンの使用は適切に	9・ 走行の妨げとなる駐車はやめよう
5・ ムダなアイドリングはやめよう	10・ 自分の燃費を把握しよう

2）運転前による、「エコドライブ10のすすめ」の事前確認とその確認に対して、営業車日報へのチェック活動により、実施の徹底を図った。





3）「エコドライブ」心得えのステッカーを各車両に掲示

【待機電力削減・水使用量削減の啓蒙活動取組み】

1）待機電力削減の啓蒙ポスター掲示による周知徹底

2）退社時の電源確認を日報管理によって実施

◆ 退社時電源確認チェック日報

※コンパクトエコシステム待機電力削減取り組み

2015年8月度
フロア＝2F

担当者確認印	責任者確認印

#	対象物	該当フロア	1 土	2 日	3 月	4 火	5 水	6 木	7 金	8 土	9 日	10 月	11 火	12 水	13 木	14 金	15 土	16 日
1	パソコン	1F・2F・3F																
2	プリンター	1F・2F・3F																
3	電気・換気扇（場内/事務所）	1F・2F・3F																
4	電気・換気扇（各トイレ）	1F・2F・3F																
5	エアコン	1F・2F・3F																
6	各機械設備	1F・3F																
7	電気ポット	2F																
8	防犯カメラモニター	2F																

#	対象物	該当フロア	17 月	18 火	19 水	20 木	21 金	22 土	23 日	24 月	25 火	26 水	27 木	28 金	29 土	30 日	31 月
1	パソコン	1F・2F・3F															
2	プリンター	1F・2F・3F															
3	電気・換気扇（場内/事務所）	1F・2F・3F															
4	電気・換気扇（各トイレ）	1F・2F・3F															
5	エアコン	1F・2F・3F															
6	各機械設備	1F・3F															
7	電気ポット	2F															
8	防犯カメラモニター	2F															

2）水使用量削減の啓蒙ポスター掲示による周知徹底

【社会貢献の取組み】

1）地域周辺美化清掃活動

【実施概要】

■日時　毎月1回
（毎月最終月曜日）
8:30～8:50

■人員　本社正社員（18名）

■場所　下記赤枠（県道179号線上下沿いの歩道と植込み）

■内容　ゴミ拾い・空き缶拾い・植込み雑草抜き・落ち葉拾い

■備考　活動内容は毎回、宣工社のFacebookで配信

2）ペットボトルキャップ回収活動によるワクチン支援

キャップ実績レポート

株式会社宣工社　様

このたびは「キャップの貯金箱推進ネットワーク」の活動にご協力頂きましてありがとうございます。皆様の温かいお心に感謝申し上げます。

■今回のご提供キャップ　（2015/10/27　分）（回収分）

重量	個数（概算）	預かり寄付金
10.80　Kg	4,644　個	108　円

ワクチン種類	一人分の価格	合計
ポリオ（小児麻痺）	約　20　円	約　5.4　人分

※1kg＝約430個＝約￥100の計算になります。
上記の数値はご提供いただいたキャップを梱包した際の数字ですので市場動向により変動することがあります。また、ワクチンはポリオ以外にBCG（約￥7）・はしか（￥95）・MMR（約￥114）・DPT（約￥9）など、あります。
寄付金額（重量×10円）は一時お預かりしたあと、後日「世界の子どもにワクチンを日本委員会」様に送金いたします。

CO2換算　34.02　kg　の削減に繋がりました。
※CO2の換算方法は、キャップ1kg（約430個）をごみとして焼却するとCO2が3150g発生しますので、重量（kg）×3150gで計算しています。

■これまでの合計
総重量　10.80　Kg

【アイドリング禁止の啓蒙活動と周辺隣家への騒音流出防止の徹底】

1）ポスターの掲示
取引先のトラック・営業車のアイドリング禁止を促すポスターをトラックヤード・駐車場に掲載

2）定期的「騒音測定」の実施

（1）埼玉県所沢市の「道路に面する地域の環境基準」に則し騒音測定を定期的に実施した

（2）環境基準　65dB以下（B地域のうち2車線以上の車線を有する道路に面する地域）

（3）実施概要
・日時　毎月1回（毎月最終月曜日 9:00）
・場所　玄関横、弊社と隣接マンションとの間の通路にて

（4）測定結果
・2015年6月29日（月）　59.9dB
・2015年7月27日（月）　57.7dB
・2015年8月31日（月）　60.5dB

【計測実施の様子】

【環境に関する法令順守状況】

#	法令名	順守・許可・届出の内容	結果
1	循環型社会形成推進基本法	3Rの推進	○
2	家電リサイクル法	所沢市の運用に基づいて適切な処分を実施	○
3	騒音・振動規制法	規制基準の順守。騒音計での測定実施（月1回測定）	○
4	労働安全衛生法	定期健康診断の実施（年1回実施）	○
5	労働基準法	就業規則の作成と労働基準監督署への届け出済	○
6	道路交通法	過積載の防止・道路交通法の順守	○
7	消防法	消防訓練の実施（年1回実施） 消防用設備点検の実施（3年更新・消防署への報告も実施） 自動火災報知機設備点検の実施（3年更新・消防署への報告も実施）	○
8	廃棄物処理法	一般廃棄物処理業者の選定（2年更新・許可証あり） マニフェストの管理・保管	○
9	個人情報保護法	個人情報漏洩の順守	○

【5S活動の取組み】

年度運営方針、「選択と集中」を5Sによって達成させ、生産性の高い仕事に取り組む

1) 年頭より案件や業務内容の見直しを行い、それに基づき、「選択と集中」で今期取り組むべき内容についての対策を行う。
2) 非効率業務、非生産的案件からの撤退と生産性の高い業務・案件へ取り組むことを決断。
3) 上記の1)よりダイレクトメールサービスにおける、「オンラインインサーター」案件からの撤退を決定。
4) 8月、現場より「オンラインインサーター」を撤去する。
5) 「オンラインインサーター」案件の撤退により、それまで掛かっていた「ヒト・場所・時間」の資産を効率的生産性のある業務・案件にあて、効率の良い収益体制を目指す。
6) 場内の作業体制、ローケーションやフォーメーションを変更する。
7) 効率的生産性の高い「インクジェット」案件のマシンを増設。
結果として、5Sをただの日々の清掃活動の位置づけとするのではなく、5Sと経営をリンクさせ、現場・現物にて対策を行う。
8) そのことによって、5S活動を経営的数字に反映させ、5S活動が目に見えて実感できる取組みにする。

Ⅷ. 環境保全の取組み評価と次年度の取組み目標

【環境保全取組み評価】

取組内容	取組み目標	評価点
エネルギー削減	前年比6%削減	○
廃棄物削減	ゴミ削減の徹底・一般廃棄物の重量と再資源化率の把握	○
水使用量削減	前年比7%削減	○
CSR推進	社会貢献活動の取り組み開始	○
5S推進	運営方針「選択と集中」を非効率業務に関わる設備の撤去、5S活動で実施	○

【次年度の取組み目標】

1) エネルギーの削減　省エネ機器、照明の導入でCO_2排出量を前年比5%削減。
2) 廃棄物の削減　前年比比7%削減。
3) 水の削減　節水で前年比2%削減。
4) CSR推進　周辺美化清掃活動の継続。
ペットボトルキャップの回収によるポリオワクチン支援の継続。
アイドリングストップ啓蒙の継続。
5) 5S推進　「選択と集中」の運営方針に対して5Sを活用して、業務効率の改善を行い、それにより、残業削減などの効果によってエネルギー削減を目指す。

Ⅸ. 代表者による総合評価と今後の対策方針

【総合評価】

1) コンパクトエコシステムに取り組む過程で、従業員の環境経営に関する関心が高まり、目標をみんなで達成しようという協調性が育まれました。

2) 環境教育により、なぜ企業が環境経営に取り組まなくてはいけないかグローバルな視点で環境保全に取り組むことができるようになりました。

3) エネルギー削減への意識付け、啓蒙活動などによって、電力・軽油・ガソリンにおける使用量の削減ができました。また、それらの活動を日報化し毎日のチェックにより活動の徹底が図られました。

4) 廃棄物分別管理表を作成し、「分別のルール化」「廃棄物保管場所の明確化」「教育・啓発」で従業員が分別を行いやすい環境を整えることができ、また、「日常管理」による維持管理の体制が整い廃棄物の削減目標が達成できました。

5) 今期の運営方針「選択と集中」のもと、非効率業務・非生産的案件に関わる設備の撤退を5S活動により実施し、同時に生産性の高い効率的業務、案件の取り込みを行いました。

6) 環境保全活動とCSRに取り組むことによって、埼玉県の優良会社として「彩の国指定工場」に認定されました。

＜平成27年度　彩の国工場指定式＞

【今後の保全対策への方針】

1) 良好な職場環境が育まれるよう、さらに環境教育、改善活動、社会貢献を進めてまいります。

2) 目標管理でさらに環境負荷を低減します。

3) 環境経営士、エネルギー管理士の専門的視点から分析した社内の省エネに関する報告書を活用し、より効率性の高い省エネ化に一層取り組みます。

4) 省エネタイプの機器、照明の導入により最大需要電力を下げます。

5) 廃棄物の分別管理をより円滑に進め、3R推進に繋げてまいります。

6) 5S活動と環境保全を一体として取り組みます。

7) 社会貢献を推進し社会的責任の好循環を目指します。

8) 順法評価登録表を維持管理し環境に関する法令を順守します。

9) 個人情報の漏洩を防止する仕組みを維持管理します。

10) 新規事業への取り組みにより、さらなる資源生産性に寄与して参ります。

Ｘ．CSR体質の自己評価チェック（ISO26000中核事項にもとづく）

CSR取組み自己評価チェック表（2015年11月30日）
（①欄に実施○、②欄に準備中△、未実施×を記入）

	①	②	具体的取組事項
Ⅰ	○		・ 社長コミットメントを含むコンプライアンスを行なっている
	○		・ ホームページやレポートを通じ企業情報開示をしている
	○		・ ステークホルダーとのミーティング等を実施している
Ⅱ	○		・ 従業員採用や給与で性別・国籍などの差別をしていない
	○		・ 障害者、高齢者などを積極的に雇用している
Ⅲ	○		・ 労働基準法を順守している
	○		・ 非正規従業員を正規化する制度がある
	○		・ ワーク・ライフバランスを推進している
	○		・ キャリアアップの機会をつくっている
Ⅳ	○		・ 大気汚染、水質汚濁、土壌汚染の防止に努めている
	○		・ 省エネ、省資源(廃棄物削減)、CO2削減を推進している
	○		・ 企業内の緑化推進をしている
		△	・ 環境マネジメントシステムを導入している
Ⅴ		×	・ フェアトレード製品の購入をしている
	○		・ 汚職、不正取引の防止、談合・価格協定の防止をしている
	○		・ 従業員の発明などに対する正当な対価支給をしている
	○		・ 下請け業者等への支払期日・方法を配慮している
Ⅵ	○		・ お客様窓口の設置、苦情処理のマニュアルがある
	○		・ 商品安全基準の設定や取扱いマニュアルがある
		△	・ 商品トレイサビリティーの実施、商品情報の開示をしている
	○		・ 品質管理マネジメントシステムの導入をしている
	○		・ 個人情報保護マネジメントシステムを導入している
Ⅶ	○		・ 地域でボランティア活動を実施している
		△	・ 地域住民、小中学生を対象とした環境教育活動を実施している
	○		・ 地域内の雇用創出を推進している
		△	・ 地域の振興援助や地域内企業（組織）との協力をしている

Total Logistics Solutions
SENKOSHA

本レポートについてのご意見・お問い合わせ先
株式会社　宣工社
(担当者名)営業部　高瀬　康仁
〒359-0022　埼玉県所沢市本郷1118-6
TEL：04-2951-6300
FAX：04-2951-6310
E-mail：ytakase@senkosha-co.co.jp
HP：http://www.senkosha.jp/